

乳幼児期にかかりやすい感染症

感染症にかかっている間や、病後は十分な休養をとり、

睡眠不足等、無理をさせないようにしましょう。

☆ 感染症と診断されたら、集団の場には行かないで下さい。



	主な症状	潜伏期	備考
麻疹 (はしか)	風邪のような症状 (咳、くしゃみ、眼 の充血)からはじま り、発熱する。3～ 4日してのどが赤く なり頬の内側に白い 斑点(コプリック斑) ができる。その後ふ たたび高熱が出る。	10～12日	〈合併症〉 肺炎・中耳炎・脳炎 などを起こすことがあ る。 予防接種が有効。
インフル エンザ	急に発熱し40度にも 達す。頭痛、腰痛激 しく、下痢、嘔吐、 鼻づまり、咳、くし ゃみ、痰が出る。	1～3日	〈合併症〉 肺炎・中耳炎・脳炎 などを起こすことがあ る。 予防接種がある。
新型コロナ ウイルス感染症	発熱、呼吸器症状、頭 痛、倦怠感、消化器症 状、鼻汁、味覚異常、 嗅異常などの症状が見 られる。	約5日間、最長 14日とされてきた が、オミクロ ン株では短縮傾 向にあり、中央 値は3日	無症状のまま経過する こともある。 予防接種(生後6か月 以上)がある。
風しん	発熱と同時に発しん が出る。全身のリン パ腺、特に首のリン パ腺が著明に腫れる。	14～21日	予防接種をすませて おく。 妊娠初期の母親がか かると胎児に影響が ある。

病名	主な症状	潜伏期	備考
水痘 (水ぼうそう)	微熱・からだがかゆい・発しんと水疱が体 中に出る。かゆみを 伴う。	11～21日	かかないように注意 する。 爪を短く切る。 予防接種がある。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳の下が腫れ痛がる。 発熱を伴うことが多 い。1～7日後に他方 も腫れる。一方だけ ですむ場合もある。	14～24日	〈合併症〉 髄膜炎、難聴を起こ すことがある。 予防接種がある。
咽頭結膜熱 (プール熱)	39℃前後の発熱、咽頭 炎(咽頭発赤・咽頭痛) 結膜炎(結膜充血)。	5～7日	夏風邪の一種で感染力 が強くプールで流行す ることが多い。
流行性 角結膜炎 (はやり目)	白目が赤くなり、目や にが出る。 痛みがひどく、まぶし くて見えにくい。	5～12日	感染力が強い。 洗面器、タオルを区別 して使う。手を流水で よく洗う。
百日咳	はじめは咳と鼻汁・ 無熱、1週間頃より 咳が強くなり夜間に 激しくなる。顔を真 っ赤にして咳込みの 後「ヒュー」という 笛のような音が出る。 ひどい時は咳込んで 吐くことがある。	7～10日	予防接種(4種混合)を すませておく。 生まれてすぐの乳児 でもかかり、重症に なることがある。 昼は咳が少ないので 風邪と間違えやすい。 咳が日増しに激しく なると要注意。
腸管出血性 大腸菌感染症 (O157など)	激しい腹痛、頻回の 水様便、さらに血便。 発熱は軽度。	3～8日	食品を十分加熱し、 調理後なるべく早く 食べきる。
溶連菌感染症	高熱・頭痛に次いで、 首のリンパ腺が腫れ 身体に粟粒大の発しん が出ることもあり、 イチゴ舌、口角炎を 起こす。	2～5日	〈合併症〉 腎炎・リウマチ熱など を起こすことがある。 十分治療をうける。

病名	主な症状	潜伏期	備考
マイコプラズマ肺炎	発熱・頭痛・咳。 熱が下がった後も、 3～4週間咳が続く。	14～21日	
手足口病	手足口の中に発しんや 水疱ができる。(お尻 に出ることもある) 熱の出る時もある。	3～5日	〈合併症〉 髄膜炎を起こすこと がある。
伝染性紅斑 (リンゴ病)	両頬に蝶が羽根を広 げたような紅い丘疹 状の発しんが出る。四 肢、お尻にほつれか かったレース編み様 の発しんができる。	10～20日	日光に当たると発しん が著明になる。
ウイルス性 胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノ ウイルス等)	ロタ・ノロウイルス によるものが多い。 発熱・吐気・嘔吐・ 下痢が主症状。 ロタのときは便が白 っぽくなる。	1～3日	吐物や汚物の処理を 十分行う。 脱水に注意。 ロタウイルスには予防 接種がある。
ヘルパン ギーナ	夏風邪の一種で発熱 嘔吐を訴えることが ある。口蓋付近に小 水疱・潰瘍などつくり、 咽頭痛・嚥下痛 を伴う。	2～4日	〈合併症〉 髄膜炎を起こすこと がある。
RSウイルス 感染症	発熱・鼻汁・咳・ 喘鳴・呼吸困難。	2～8日	毎年冬季に流行する。 生後6ヶ月未満は重 症化しやすい。
帯状疱疹 (ヘルペス)	小さな水疱が肋間神 経に沿った形で片側 に現れる。	不定	水痘に対する免疫のな い児が接すると水痘を 発症する。
突発性発しん	突然の高熱が3～4日 続く。熱が下がると 全身に赤い発しんが出 る。下痢を伴うこと が多い。	約10日	生後6か月～24か月の 児がかかることが多い。 中には2回かかる 児もいる。

詳細は、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」を
ご覧ください。